

令和元年東日本台風と「足利の防災」

令和元年東日本台風(第19号)は、カスリーン台風以来大きな水害が無かつた足利市にも、甚大な被害をもたらしました。その結果、市の危機管理体制や国県を含めたハード対策、市民の防災意識等、様々な課題を浮き彫りにしました。今回はその課題を整理し、足利を災害に強いまちにするための提言をまとめさせていただきました。

足利市における令和元年東日本台風の被害

(令和2年1月20日 足利市災害復興本部発表)

人的被害		物的被害	
死者	1名	住家被害	826件
中等傷	2名	非住家被害	45件
怪我無し*	131名	崖(土砂)崩れ	51件
被害総額		河川被害	69件
約88億6,000万円		橋梁被害	12件
※救助されたが怪我のなかった人数		排水・用水等溢水	116件
その他			121件

✓ソフト対策 -災害に強いひとづくり-

ハード対策には多くのお金と時間がかかりますが、ソフト対策は短期的かつ低予算で効果を上げます。今回課題となった避難所について、**指定避難所は状況により早期開設が必要です**。また、地域が定める**一時避難所(水害と地震で同じ)の見直し、地区防災計画の策定、本格的な防災訓練の実施**も急務です。「自分の命は自分で守る」という心構えが大前提です。それを後押しするための体制整備をこれからも提言して参ります。

出張!市政報告会・意見交換会

末吉利啓が皆様の地元や会社などにお邪魔して、市政報告をいたします。お気軽にお問い合わせください。

■末吉利啓プロフィール■

昭和56年生まれ足利出身のプロレスラー。足利市朝倉町に生まれ福富町で育つ。足利を元気にするため観光や歴史を切り口に地域イベント・プロレス大会の開催、イベントの司会、コラム執筆、講演など様々な活動を続ける。平成27年足利市議会議員選挙に出馬し初当選(現在2期目)。市議会議員プロレスラーとして活動中。

■末吉としひろ後援会■

〒326-0331
栃木県足利市福富町2019-2
☎ 0284-22-3958
✉ info@sueyoshi-toshihiro.com

✓ハード対策 -災害に強い治水政策-

河川の堤防整備、ダムの整備といったものがハード対策です。今回注目された水門もそれにあたり、**開閉情報の収集と住民への情報発信**は必須です。閉鎖時に本流に水を流す**排水ポンプ等の整備**も有効です。また、国が重要水防箇所と位置付ける**中橋の架け替えや、矢場川・姥川等小規模河川の早期整備**も必要です。基礎自治体が直接できることには限りがありますが、国・県への要望もしっかりと行って参ります。



整備された朝倉橋管の赤灯と姥川の水位計

✓行政の危機管理体制強化

足利市の災害対応は市長を本部長とした「災害対策本部」を設置して組織全体で行います。しかし、現場では災害対応に追われ、市内の冠水・河川氾濫情報が対策本部に届けられなかつたり、殺到した問い合わせに対応できず、判断の遅れを招いたりしました。市民への情報提供の遅れもその結果です。また消防も冠水により多くの車両が稼働できなくなるなど、限界も明らかになりました。

そこで、①**情報班の情報発信体制の充実**、②**退職自衛官の危機管理体制への採用**、③**防災体制立て直し担当配置**、④**災害対策本部とのホットライン形成**、⑤**水難救助能力の強化**等、多くの提言をさせていただきました。



▲詳細

アシカガ+ミライ茶論(サロン)

■日時／毎月第2水曜日 午後6:30～8:00
■場所／珈琲蔵(栃木県足利市旭町229-2)
※毎月行っている意見交換会です。どなたでも参加できます。詳しくはHPへ。

スエヨシレポート

足利市議会議員 プロレスラー [末吉としひろ市政レポート]

vol.9
2020年10月発行

みんなで
足利の未来は
変える

梁田地区に放課後児童クラブ開設 田崎草雲学ぶ小学生向け補助教材完成

令和元年東日本台風と 「足利の防災」

令和元年9月議会一般質問

◎市長の政治姿勢について
～中橋の架け替え～

令和元年12月議会一般質問

◎防災行政について
～危機管理体制、消防組織～

令和2年3月議会一般質問

◎文化財の保護と活用について
～史跡足利学校等の防災・防火対策～

議事資料 写真は令和元年東日本台風時の中橋と渡良瀬川